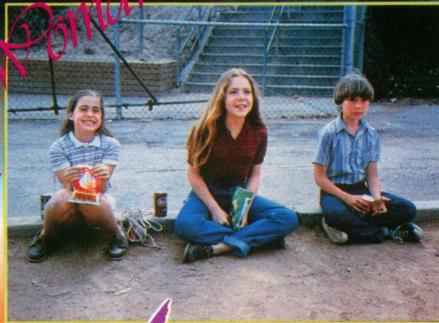


さよならを言わないで……きっと、また会える。
「ある愛の詩」のエリック・シーガルが再びあなたに贈る愛の名篇!



Man, Woman
and Child



愛の7日間

マーティン・シーン/ブライス・ダナー

昭和58年度文化庁芸術祭参加

ゲイロード・プロダクション・カンパニー&エリオット・カスナー提供 ディック・リチャーズ作品 マーティン・シーン ブライス・ダナー MAN, WOMAN AND CHILD 共演クレイグ T・ネルソン デイビッド・ヘミングスaa Gavin Wilson
製作総指揮スタンリー・ベック 撮影リチャード・H・クライン A.S.C. 作曲・指揮ジョルジュ・ルリュエ 原作エリック・シーガル 脚本エリック・シーガル&デイビッド・Z・グッドマン 製作エルモ・ウィリアムズ&エリオット・カスナー
監督ディック・リチャーズ コロムビア映画配給 ©1983 COLUMBIA PICTURES INDUSTRIES, INC.
原作エリック・シーガル(角川書店刊)

Man, Woman and Child

誰もが涙するエアポートの別離—— 映画史に残る名ラストシーン!

空港。それは時を越えていまなお鮮烈な別れのスポット。恋人たちが…友と友が…そして親と子が…限りない哀切とともに、この場にたたずんできました——。

ロサンゼルス国際空港。パリ行ジャンボ便。最後の乗客として乗り込もうとする少年の瞳は、涙をこらえるのに精一杯です。見送る人は父親。感きわまって熱い抱擁をかわす二人がなぜ——どうして——でも、これが、《愛の7日間》が行きついた哀しみの結論だったのです。

ここに、映画史上に残る名ラスト・シーンが生まれました。おそらく、誰もが涙でハンカチを手離すことができないでしょう。でも、あなたの心の中では、この哀しみの少年ジャンボロードを固く抱きしめてあげてください——。

男にとって、女にとって、そして子供 にとって、《愛》とは?

《幸福》とは?

大学教授ボブ・ベックウィズは、美しく聡明な妻シーラ、そして、ジェシカとポーラという可愛い盛り娘たちに囲まれ、誰からも羨ましがられるほど平和で幸福な家庭を築いていました。

その幸福が、平和が、ある日、一人の少年の出現によって突然破られ

たのです。10年前、ボブはたった一度の不実によって、フランス女性との間に子をなしました。その子ジャン＝クロードが、母を亡くし、何も知らないまま一人海を越えてやって来たのです。「呼んだら?」といったのは、夫の衝撃の告白を受けた妻——。

子期せぬ愛の危機を迎えて、いま男と、女と、子供たちは、それぞれの愛の真実をさぐりはじめた……。

愛の傷み、それをいやすのもまた愛。たった 7日間のあいだに歓びと哀しみのドラマが……。

原作者エリック・シーガルが前作「ある愛の詩」でうたいあげたのは「永遠の愛」。今、再びシーガルが、あなたに語りかけるのは「真実の愛」。

愛していればこそ抱く心の痛み。信じればこそ許せない背信。小さな魂のため守りたい静かな幸福。理性では解決できない嫉妬。家庭か息子か、選択にとまどう心。——愛の豊かさを求め続けるシーガルが、あなたのスポークスマンに選んだ「男と女と子供たち」は、たった7日間のあいだに一生にも値する愛の行方みつめ、それぞれの涙

で真実の愛を知った時、明日への幸福づくりに、あらたに歩きはじめるのです。

「愛の歓びはただひと時のもの。

愛の哀しみはいつまでも続く」とうたうフランス古謡「愛の歓び」の調べにのせて贈る《愛の7日間》——それは、愛のもろさを問われる現代だからこそ、

限りない感動を呼ぶラブ・ストーリー。



マーティン・シーン

ブライス・ダナー

〈カラー作品〉コロムビア映画配給
©1983 COLUMBIA PICTURES INDUSTRIES, INC.



愛の7日間

10月1日(土)ロードショー

特別鑑賞券 ¥1,200 発売中!

(当日 一般 ¥1,500 の処
学生 ¥1,300)

渋谷東急文化会館6F

東急名画座

(407)
7229

日祝 10:50 平日 12:40 2:50 5:00 7:10